

特記仕様書(重要事項説明書)

工事名： 砂原配水場改築工事(土木・建築)(債務)

1. 施工条件明示事項について

当該工事の施工条件に関して、下記のとおり明示する。なお、下記の表に明示されていない事項及び明示の内容に疑義があるときは、発注者と協議するものとする。

明示項目	明示事項		明示事項内容及び参考
工程関係	<input checked="" type="checkbox"/>	他の工事の開始または完了の時期による影響	新環状道路建設計画により完了時期が制限されている。
	<input type="checkbox"/>	施工期間、施工時間及び施工方法の制限	
	<input checked="" type="checkbox"/>	関係機関等との協議による施工条件	市、工事管理者、関連工事関係者と定期的に工程会議を行う。また、県と進捗調整を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/>	地元自治会等との打合せ協議	近隣住民及び、近隣施設へのチラシ配布、工事看板等により十分な周知をすること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	週休2日制について	適用
用地関係	<input type="checkbox"/>	工事用地等に関する条件	
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用仮設道路・資機材置場用の民有地等の借地	考慮していない。
	<input type="checkbox"/>	工事用地等の使用終了後における復旧内容	
周辺環境・保全関係	<input checked="" type="checkbox"/>	工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	隣接する果樹畑の収穫等に影響のないよう対策を講ずること。
	<input type="checkbox"/>	工事に伴う影響が懸念される場合(家屋調査等)	
	<input type="checkbox"/>	水替え・流入防止施設	
	<input type="checkbox"/>	濁水、湧水等の処理対策	
	<input type="checkbox"/>	地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間に関する事	
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/>	交通安全施設等の指定	作業範囲はバリケード等により第三者が侵入しないよう徹底を図ること。
	<input type="checkbox"/>	近接工事での施工方法、作業時間等の制限	
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事関係車両等の出入り制限対策	隣接道路は近隣住民の生活道路であることから工事関係車両出入り等については十分配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	交通誘導員及び保安施設、保安要員の配置	本工事において法定福利費を含む交通誘導警備員B(330人)を見込む。主に大型機材や資材等の搬出入時等に交通誘導を行うものとする。
	<input type="checkbox"/>	有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	
工事用道路関係	<input type="checkbox"/>	工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	
	<input type="checkbox"/>	搬入路の使用中和及び使用後の処置	
	<input type="checkbox"/>	仮設道路の設置	
	<input type="checkbox"/>	一般道路の占用及び条件	
仮施設関係	<input checked="" type="checkbox"/>	仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用もしくは兼用	機械・電気工事と重複するため、工程調整等を密に行うこと。
	<input type="checkbox"/>	仮設備の構造及び施工方法の指定	
	<input type="checkbox"/>	仮設備の設計条件の指定	
建設関係産物	<input checked="" type="checkbox"/>	残土の受入及び仮置場所までの距離、時間等の処分条件	処分先住所: 甲斐市牛勾字3619番1他 運搬距離L=19.2km を想定している。
	<input type="checkbox"/>	建設副産物の現場内での再利用及び減量化	
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設副産物及び建設廃棄物の処理	関連する法令等に基づき適正に処理する事

明示項目	明示事項		明示事項内容及び参考
障工 関事 係支	<input type="checkbox"/>	占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	<input checked="" type="checkbox"/>	本体工事との重複施工・重複箇所	機械・電気工事と重複するため、工程調整等を密に行うこと。
地盤 係改 良関	<input type="checkbox"/>	薬液注入工法の施工	
	<input type="checkbox"/>	その他の地盤改良の施工	
	<input type="checkbox"/>	周辺環境への調査	
その他	<input checked="" type="checkbox"/>	厳守事項	工事においては、信頼・品位を損なうような言動、行動を慎み誠実な対応を心がけること。
	<input type="checkbox"/>	工事現場発生品	
	<input type="checkbox"/>	支給材料及び貸与品	
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用水、電力等の指定	必要に応じて、受注者の責において用意する事
	<input type="checkbox"/>	異業種間の調整	機械・電気工事と重複するため、工程調整等を密に行うこと。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	専門工事を行う場合は、極力、市内業者に依頼すること。

2. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

監理技術者制度運用マニュアル(平成16年3月1日国総建第318号)三-(2)-③(最終改正 令和6年3月26日国不建第290号)に基づき、工場製作を含む工事全般について、工場製作のみが行われている期間として、下記のとおり実施するものとする。

①現場施工に着手するまでの期間

請負契約の締結の日の翌日から準備期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、発注者と協議の上、定めるものとする。

②専任を要しない期間の連絡体制、安全管理について

工事現場で実際、作業が行われていない期間においても、発注者との連絡体制の整備や必要に応じて現場の維持管理があることから、次の事項について打合せ協議簿で提出すること。

(1)電話等により確実に現場代理人又は主任技術者等と連絡が取れること

(2)緊急時(自然災害や事故等)に速やかに対応できる体制であること

専任を要しない期間であり、打合せ協議簿において協議した期間の途中であっても、上記について虚偽や抵触すると、専任を要しない期間を取消するものとする。

③現場代理人の特例措置について

本工事において、「現場代理人の常駐義務緩和に関する適切な運用について」(国土建土161号平成23年11月)に基づき、現場着手が開始されるまでの間について、「安全管理や工程管理などの工事現場の運営・取締り等が困難なものでないこと」かつ「発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること」のいずれも満たす場合については常駐義務を緩和するものとする。ただし、緩和を可能とできる条件としては前記並びに、同指針(2)-ア～ウについて全てを満たすことが確認できる資料を打合せ協議簿等で提出すること。

3. 債務負担行為に係る契約の前金払及び中間前金払の特則について

本工事は、笛吹市建設工事標準請負契約約款(令和7年4月1日から)第40条3項を適用可能とし、契約会計年度に翌会計年度分の前払金及び中間前払金を含めて支払うことができるものとする。